

プレス部門

19台の各種プレス機械を保有し、さまざまな素材から金物類のベース、パイプ、受座などを製造。プレス工程を合理化するとともに、製品の耐久性や品質の向上に努めています。

溶接部門

熟練の技術者による丁寧な溶接作業が、堅牢性・耐久性の高い製品（ベース、パイプ、受座など）を生み出しています。同時に自動化にも推進し、効率的かつ高品質な製品作りにも取り組んでいます。

塗装部門

メッキ・樹脂塗付塗装や粉体塗装の設備も充実しています。特にメッキ加工など、幅広いニーズに応える独自の技術をフルに活用しています。

組立・検査部門

ベース、パイプ、受座を組み立てた後の寸法の検査やスチチェックを行います。また完成品についても、キズや汚れ、色などを調べ、不良品を減くために万全を期しています。

別注製作部門

カタログに掲載されていない仕様やオリジナルの製品を製造。たとえば、企画・設計段階からの製作依頼や、設計図もいたらない製作など、さまざまなご要望にお応えします。



アルミニウム

バフ研磨で鏡面にしたりライン目を入れる仕上げで、クリアーでコーティングすることで、耐食性を向上させています。



クロムメッキ

素材研磨後、ニッケルを付けてクロムで仕上げた装飾メッキです。手びなどから表面を保護するとともに、金属の質感をより高めることができます。



ゴールドメッキ

素材研磨後、ニッケルを付けて真鍮合金で金色を出し、表面保護のためクリアーで仕上げます。一般的に金色メッキと言われます。



ジービーメッキ

素材研磨後、銅を付けて染色し、ラインを入れて濃淡をばかした後、表面保護のためクリアーで仕上げます。濃淡次第で色調が変わり、繊細な風合いを醸し出します。



ニッケルサテンメッキ

素材研磨後、ニッケルを付けてラインを入れ、表面保護のためクリアーで仕上げます。ライン加工のつや消し効果により、乳品漂う仕上がりになります。

